

議会だより

No.171 (R2.8.5発行)

令和2年 第2回浦臼町議会定例会 一般質問

第2回定例会は、6月17日と25日に開催し、8議員から一般質問がありましたので、内容を要約し報告します。



親しまれる議会だよりを目指します。



野崎議員

を 幸福度満点の町づくり

Q 質問

執行方針では、道の駅付近の一体的な再整備、グラウンドデザインなどを検討し道筋をつけたいとおあるが、その前に浦臼町民の幸福度の向上を図る方が先ではないか。高齢者住宅など、町民が最後まで浦臼に住めるような町づくりをしていたきたい。

A 町長答弁

「町民の幸福度の向上」という考え方を優先して、町政運営を行う考え方は議員と同様であり、そのように進めたいと考えている。しかしながら、道の駅構想がスタートして8年が経過して、何らかの道筋結論は出すべきと考えてい

るため、執行方針のとおりに進めていきたい。

温かな住民生活の推進の中に砂川市直通交通はあるか

Q 質問

執行方針では、「温かな住民生活の推進」とあるが、運転免許返納者が増加する現状で、生活の足を確保することは重要では。砂川市立病院への地域公共交通の考えは。

A 町長答弁

砂川市立病院へは町営バス、中央バスなどが運行しているが、診療時間の対応など様々な問題があると認識している。直接病院へアクセスできることが理想だが、民間事業者の影響や町営バスとの競合、運行経費など課題がある。

執行方針でも利便性の高い公共交通の実現を掲げていて、市立病院への運行は検討の対象である。メリッ

ト・デメリットを検証し、議員懇談会で改めて意見を聞いていきたい。



中山議員

コロナ禍による小中学校の未習授業対策

Q 質問

前年度の未習分の消化と新学期からの授業に対する今後の進め方について。

A 教育長答弁

前年度分は標準授業時数には至らなかったが、各学年数時間程度の授業で履修でき、今年度に全学年が履修済となっている。

今年度分は、運動会や学芸会の中止など、学校行事の見直しや夏・冬休みを20日間程度短縮することで、標準授業時数の確保の目処が立ったところである。

全日光回線の実現へ向けて

Q 質問

国会で光回線の整備に対する予算が補正され、5G対応の基盤となる光回線整備の加速が求められている。この機会を逃さず、全町整備を願うが町長の考えは。

A 町長答弁

必要な情報収集をし、民設民営方式による整備に向け、今週中に「光ファイバー整備に関わる要望書」を東日本電信電話株式会社（NTT東日本）に対し提出することとしている。

国庫補助金や新型コロナウィルス対応地方創生臨時交付金など、本町にとって有利な財源が活用可能とはいえ、町単独での負担が生ずるほか、整備エリアの選定や契約者数等によって町単独負担額が増減するなど、いまだ不確定要素が多いため、慎重に判断していく。

町内買物バスの循環運行について

Q 質問

市街地以外の地域に住んでいる町民、運転免許返納者など交通弱者に対する買い物対策として、循環バスの運行が必要と考えるが、町長の考えは。

A 町長答弁

運転免許証自主返納支援として、年度当たりタクシーチケットを3万円分、3か年継続して交付して、平成29年の開始以来、延べ45名に交付している。

本町では、乗合タクシーを運行し、生活交通は確保されていると考え、市街地向けの買物バス運行については考えていない。

Q 再質問

地域に住む人達の足を確保するためにも、私の任期、また町長の任期の中で時間をかけ、進めていただきたい。

A 町長再答弁

買物バスと乗合タクシー

の両方を走らせることが合理的なのか判断しなければならぬが、乗合タクシーが好評なので、今後に向けて話をしていく。



東藤議員

コロナからの教育指導

Q 質問

今般のコロナで、児童生徒の授業の遅れが見え、夏・冬休みが短縮となった。道教育委員会の指導の下、浦臼町としてどのように取り組むのか。また、修学旅行についてはどう考えているのか。

A 教育長答弁

道教育委員会からは、各教科等の学習指導、年間指導計画の見直し、家庭学習の留意点の通知がなされた。また、学校再開にあたっては、必要な授業時数の確

保が大切としながらも、家庭学習の内容を再度授業で取り扱わないことができる。特别的措置についても示された。

修学旅行は、小6は11月中3は10月頃で、旅行先を道内に変更することを含めて検討している。



高田議員

大容量高速通信施設の拡充について

Q 質問

大容量高速通信網未整備地区への設備の拡充について伺う。

A 町長答弁

現在は浦臼市街地区のみの普及にとどまり、情報化が加速している社会情勢下において大きな課題である。また、コロナ禍に起因す

るテレワークやリモート会議、臨時休校等に伴うリモート学習環境の整備など、自宅で過ごす時間の増加により、光回線による通信環境の整備ニーズは以前にも増して高まっているため、諸課題をクリアしながら、整備実現に向けて適切に判断していく。

中長期的な総合振興計画について

Q 質問

今後の各施策を具現化していくためにも、町の方向性、基本構想を示し、町政運営の指針としては。

A 町長答弁

第4次浦臼町総合振興計画は、令和2年度から令和6年度までとする後期基本計画への移行年にあたる。

総合振興計画は、町の計画の中でも最上位計画に位置付けられ、町政執行方針に基づき施策を展開するためには、総合振興計画との整合を図ることが不可欠な

ため、後期基本計画の早期策定に鋭意努める。
また、策定した後期基本計画については、町民に多様な媒体を通じて周知・広報する。



柴田議員

町政執行方針からまちづくりへ向けて

Q 質問

①町づくりは人づくりが基本。職員の道庁への派遣、出向を進め、研さんの機会を進めるべきでは。
②農業者の高齢化への対応策と後継者花嫁対策は。
③ブランドデザイン整備事業が3年を経過したが、進展はあったのか。
④防災や福祉の面から、町内会再編は重要な課題。今後の協議の進め方と何年後を目処に完成を目指すか。

A 町長答弁

①来年度から自治大学校へ2名の参加を考えている。
職員体制に余裕がないため、まずは職員の確保に務め、道庁への派遣、相互交流を前向きに進めたい。
②後継者のいない60歳以上の農業者の農地面積は652ha。将来、これらの農地が手放される可能性がある。そこでスマート農業、その効果を高めるための農地再編整備を推進し、意欲ある若手農業者への支援を積極的に行い、新規就農者対策にも取り組んでいきたい。
花嫁対策については、JAピンネ青年部浦臼支部による結婚活動支援事業に対し、中山間地域連絡協議会より支援を行っている。
③検討委員会ではワークショップ形式で検討を進め、主にソフト事業について検討し実施した。
協議会では、道の駅や温泉施設の機能、検討委員会等で協議されているソフト事業を実施するために必要

な機能など、主にハード事業の検討を行い、施設整備について2案にまとめた。

④行政区再編は、町内会長会議で町の考え方を説明し、各町内会の現状の課題や再編への意見を伺う。
12月の町内会長会議にて伺った意見等をまとめて提示し、翌1月の新町内会長会議で方向性を出し、その後検討委員会を立ち上げ、再編に向けた協議を進めたいと考えている。

今後、3年以内には再編に向けた計画を策定したい。



静山議員

防災計画の見直しとBCP対策

Q 質問

防災計画の見直しと、補

完機能としてのBCP対策（緊急事態を生き抜く事業継続対策）がスムーズに発動するための条例措置が必要では。

A 町長答弁

コロナウイルス感染症は、想定を超えた災害と認識している。

BCP対策は現状は考慮されており、今後、国や北海道が発信する情報を注視し、町民の生命、身体及び財産を災害から守るため計画の見直しを進める。

また、今回の事態がある程度収束した時点で、防災計画上の位置づけや感染症対応のBCP対策、新たな行動計画等、包括的な指針が示されると思うので、業務継続支援措置条例についても全体的な枠組みの中で検討したい。

学校給食について

Q 質問

奈井江・浦臼町学校給食組合が施設の老朽化により

解散することとなった。
今後は砂川市へ委託となり、夏休み終了後より提供が始まるが、新型コロナウイルスの影響はないか。

A 教育長答弁

同組合は昭和43年より実施してきたが、施設の老朽化、調理員体制の確保が難しく、継続が困難となり、砂川市に委託することになった。

夏休みの期間短縮や日程の変更はあるが、学校給食については小中学校への影響がないよう提供できると聞いている。

学校における新型コロナウイルス対策

Q 質問

新1年生は入学してすぐ休校となり、学校生活にスムーズに入れなかったのではと推測するが、現在の状況は。

また、学校再開による感染症予防対策はどのようなことを心がけているか。

A 教育長答弁

新1年生は新たな環境、規律に慣れる時期に臨時休業となり、分散登校開始時には、逆戻り現象も見受けられたと聞いていたが、現在は順調と認識している。

予防対策として、文部科学省による衛生管理マニュアル及びQ&Aなどに基づき、校舎の消毒やマスク着用、手洗いの徹底、健康観察シートによる児童生徒の体温や健康状態の把握をしている。

スクールバスについては、鶴沼方面において、町及び社会福祉協議会に協力いただき、福祉バスの未利用時を活用したスクールバスの増便を図っている。



折坂議員

「集い、語らい、支えあい」の実践を期待する

Q 質問

基本政策の柱として「住民対話の推進」とある。

- ①住民との合意形成について、構想の段階から住民のもとに向いて情報をオープンにし、透明性を確保しながら一緒に計画を作り上げる手法を実践しては。
- ②住民との協働、支えあいの考え方で、市町村運営の自家有用償旅客運送制度を検討しては。
- ③SNSを活用し、双方向通信として住民との交流や災害時の正確な情報の発信と収集に役立てては。

A 町長答弁

①今後、農業経営に対する検討協議の場で、若手農業者に様々な意見や要望を発

信してもらい、実施段階では持続的なメンバーになってもらうことから始める。

②事業者の経営に影響を与えるため、現状では(地域ボランティアの力を借りた運送方法は考えていない。

③SNSの有効性、時代性は理解するが、今後の課題としたい。

『コロナ禍における通信環境の強化と子供たちの心のケア』は

Q 質問

- ①休業期間中の学習課題の提供や児童生徒の見守りは、また、今後オンライン学習によってどう変わるのか。
- ②ICT教育の指導体制の充実に必要な、「ICT支援員」の確保は。
- ③急激な生活環境の変化に戸惑う児童生徒に対する心のケアは。

A 教育長答弁

①臨時休業中は、復習を基本とした、既存教材や学習ドリル等を配布し、次の分

散登校日に小テストを行うなど、家庭学習のモチベーションの維持を図っている。

また、指導上気になる児童生徒の保護者と面談、電話連絡やメールでの啓発、紙面相談プリントの配付を行っている。子ども広場でも子供たちの安全安心な居場所づくりに努めている。

国のGIGAスクール構想の前倒しの実施により、児童生徒1人1台のタブレットPCの導入を計画している、家庭の通信環境も併せて整備することで、タブレットPCの家庭での使用遠隔会議システムを利用した「オンライン授業」も可能になる。

②ICT支援員の確保は見通しが立っておらず、教職員への研修機会を増やすこととする。

③学級担任や養護教諭が中心となり、きめ細かに見守っていく。

小学校には補助教諭等を複数人配置し、中学校にはスクールカウンセラーが派

遣されている。

町政はあなたのために。

議会を傍聴してみませんか？

- 町議会の定例会は年4回（3・6・9・12月）開きます。
- 町議会の臨時会は、必要に応じて随時開きます。
- 難しい手続き不要！名簿に記入するだけで傍聴できます。お気軽にお越しください。

令和2第2回定例会は13名の傍聴がありました。

☆ありがとうございました☆





牧島議員

酪農農業者への支援は

Q 質問

飲食業、小売業への支援が始まったばかりだが、酪農家、肥育育成農業者への支援はどうなっているか。

A 町長答弁

国の各種支援が創設され、制度の周知や申請のサポートをJAピンネと協力し行っていく。町単独での助成は考えていない。

Q 再質問

子牛価格が2014年以来的の安値となる一方、アメリカからの輸入が19%増加していて、緊急輸入規制をしないのかと考える。消費が減り、在庫が増える状況下の中、本町の数字をどう捉えているか。

A 町長再答弁

JAとは全ての畜産農家

等の状況を聞き取っている。

A 産業振興課長答弁

国の事業の情報は掴めていて、現状、町内では大きく影響を受けているところはないと報告を受けている。

Q 再々質問

具体的な数字で理解しているか。

A 産業振興課長再答弁

数字までは町が把握している状況ではないが、事業対象となる売上げが20%以上落ちているところはない。

支援金とすれば、交付要綱等の整理が必要では

Q 質問

税金を使う支援となれば、交付要綱等の整理が必要では。

A 町長答弁

既存の振興補助金等交付規則により交付する。新たな要綱等の整備はしない。

基準日以降の出生者に定額給付金の給付を

Q 質問

定額給付金は令和2年4月27日を交付基準としたが、令和2年度補正予算である以上、3月31日までの出生者に対して手当てするのが当然と考えるが。

A 町長答弁

本給付金に限って独自給付することは、新たな不公平を生む懸念もある。独自給付は考えていない。

Q 再質問

国の方が不公平を生んでいるのでは。迅速かつ確に家計への支援を行うための給付金であり、同じように支給し、地方からしっかりと発信できないか。

A 町長再答弁

他にも様々な助成制度がある中で、これだけを期限を伸ばしていいものか。大多数の道内市町村も現状で進むとしているため、今の考えで進めていく。

公園管理について

Q 質問

鶴沼公園の周回歩道が倒木の危険により一部通行止めになっている。いつまで放置するのか。

A 町長答弁

地権者との協議を進め、整備を行っていく。

Q 再質問

いつから倒れているのか。また、いつまでにやるか。

A 町長再答弁

可能ならすぐに実施する。湖面が隣接しているため、冬工事でなければならぬなど、時期的な制約がある。

A 産業振興課長答弁

3年前の台風時に上部が折れた。当時整備の話をしたところ、根元から切らないうで欲しいということだったが、折れている場所にどうしても届かず、整備ができなかったため今の状況になっている。

Q 再々質問

夫婦、親子が歩けるよう安全対策をして、冬まで待

たずにやれるのでは。

A 町長再々答弁

業者が判断したと聞いているが、もう一度確認させる。

診療所医師の確保は

Q 質問

診療所の建て替えは今後考えたい、とある。指定管理期間が令和3年3月31日で満了となり、次の医師の手上げがないと聞いているが、医師の確保をどうするのか、その手順は。

A 町長答弁

昨年6月から今年2月にかけて募集を行ったが、現在の管理者を含め応募がなく、現在は医師の確保に向けて調整中。

町民が安心して医療を受けられる体制を整えていく。

JR 廃線跡地活用は

Q 質問

跡地活用及び検討会議をどう進めるのか。

A町長答弁

駅前エリアの再開発には検討委員会を発足して協議を進めていて、年度内には方向性を打ち出していきたい。

それ以外の区域については、令和3年半ばを目標に、隣接地権者との個別協議、鉄道施設撤去後の利用に係る地域説明会などを開催し、計画策定を進める。

このほか、教育長に対し「教職員の勤務時間外在長時間について」「浦臼子ども広場の試行的受入れについて」を質問しました。

寄付行為について

議会議員は、選挙区内で金銭や品物を送ることは特定の場合を除いて法律で禁止されています。また、有権者が求めてもいません。ご理解とご協力をお願いいたします。

審議された事件と結果

条例等の審議と結果

◆浦臼町税条例の一部を改正する条例について
—可決—

—可決—

◆浦臼町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び浦臼町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について —可決—

◆浦臼町手数料徴収条例の一部を改正する条例について —可決—

◆浦臼町定住促進住宅取得応援条例の制定について —可決—

◆浦臼町長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例について —可決—

◆浦臼町中小企業振興条例の一部を改正する条例について —可決—

—可決—

◎固定資産評価審査委員会委員の選任の同意を求めることについて
任期満了により、次の者を選任することに同意しました。

- ・伊藤 覺施氏

◎農業委員会委員の任命の同意を求めることについて
任期満了により、次の者を任命することに同意しました。

- ・静川 広巳氏 (浦7)
- ・高田 輝雄氏 (晩1)
- ・折坂 義一氏 (鶴1)
- ・位田 勝氏 (鶴3)

- ・古橋 優一氏 (晩3)
- ・畑山 証氏 (浦8)
- ・土橋 直生氏 (浦7)
- ・佐藤 等氏 (晩3)
- ・石橋 和博氏 (浦1)
- ・三次 博之氏 (鶴2)
- ・鎌田 和久氏 (晩3)
- ・石井 文彦氏 (鶴1)
- ・今田 厚子氏 (浦4)

◎報告事項

◆繰越明許費繰越計算書の報告について

◇翌年度繰越事業と金額

- ・道営農地整備事業負担金 2,352万5千円

◆浦臼町土地開発公社の経営状況の報告について

浦臼町土地開発公社の令和元年度事業及び決算、令和2年度事業計画及び事業予算について報告されました。

意見書

1件の意見書案について原案のとおり可決し、関係各省庁に提出しました。

○種苗法の改正について慎重な審議を求める意見書

〈提出先〉衆議院議長、参議院議長、農林水産大臣

第1回浦臼町議会臨時会 (5月13日開催)

条例等の審議と結果

◆浦臼町税条例等の一部を改正する条例について
—承認—

—承認—

◆浦臼町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について —可決—

◎令和2年度予算の補正されたもの(専決事項)

会計名 (補正番号)	補正後の予算額 (補正額)	補正された主なもの
一般会計 (第1号)	33億4062万8000円 (162万8000円)	次亜塩素酸水溶液専用 超音波噴霧器購入費等 162万8000円
一般会計 (第2号)	33億5612万8000円 (1550万円)	町内消費活性化事業補 助金 950万円 町内飲食業経営支援補 助金 600万円
一般会計 (第3号)	35億4037万9000円 (1億8425万1000円)	特別定額給付金 1億7850万円 子育て世帯臨時特別給 付金 189万円

◎令和2年度予算の補正されたもの

会計名 (補正番号)	補正後の予算額 (補正額)	補正された主なもの
一般会計 (第4号)	35億4187万9000円 (150万円)	マスク購入費等 150万円
一般会計 (第5号)	39億6628万9000円 (4億2441万円)	JR札沼線鉄道施設撤去調査 設計業務委託料 7400万円 雪寒機械購入6108万5000円 B&G海洋センター改修工事 4158万円
下水道事業 (第1号)	9154万5000円 (24万5000円)	職員手当等 24万5000円

◆浦臼町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する
条例について ―可決―
◆空知教育センター組合議会議員の選挙
・川畑 智昭 氏

◎副町長の選任について
前副町長の辞職のため、次の者を選任することに同意
しました。
・石原 正伸 氏

◎固定資産評価員の選任の同意を求めることについて
前評価員の辞職のため、次の者を選任することに同意
しました。
・石原 正伸 氏

◆工事請負契約の締結について

◆ひばり団地(A・B棟)新築工事
・契約方法 指名競争入札(最低制限価格適用)
・契約金額 1億7,820万円

・契約の相手方 三鉢・今田経常建設共同企業体
(うち消費税額 1,620万円)

第2回浦臼町議会臨時会

〔7月14日開催〕

浦臼町公の施設に係る指
定管理者の指定手続等に
関する条例の一部を改正
する条例について
―可決―

◎財産の取得について
◆ロータリ除雪車(13ト
ン級) 1台
・契約方法 指名競争入札
・契約金額
3,712万5,000円

(うち消費税額
337万5,000円)
・契約の相手方
北海道川崎建機株式会社
代表取締役 丹野司

◆浦臼小学校及び浦臼中学
校学校情報機器等備品一式
・契約方法 指名競争入札
・契約金額 1,067万
円

(うち消費税額 97万円)
・契約の相手方
富士電機ITソリューション
ズ株式会社
代表取締役社長 及川弘

総務産業常任委員会報告

〔調査日4月13日〕

『JR札沼線線路隣接の状
況』
昭和10年に全線開通して
以来85年間、地元の足とな
り地域を支え続けてきた札
沼線の一部区間が4月17日
をもって廃線となった。
廃線後の土地は町に返還
されることとなり、各地域
の線路用地の状況を視察し
確認した。

大半の用地が雑種地で、
農業用地を分断しているこ
ろは今後の管理方針を示
すことが必要だと感じた。
駅前開発のみならず、町
内全体に及ぶ跡地利用、管
理体制について、土地改良
区、農業委員会を加えた協
議会を設立し協議されたい。
また、晩生内コミュニティ
イセンター前の交差点は、
交通安全の面から信号機の
設置と、ガードレールの撤
去を求めたい。

『地域おこし協力隊のサポ
ート体制について』
地域おこし協力隊は、地
域外の人材を受入れ、地域
協力活動を行い、その地で
の定住・定着を図ることで
地域力の維持、強化を図る
ことを目的としている。
協力隊は準公務員として
の性質が強く、本来のスキ
ル、能力を生かし切れてい
ない。彼らは自分の主張を
強く持ち、その能力を十分
に発揮するための環境や、
対応を整理する必要がある。
また、本人の希望や内容
に縛られない採用方法をと
るべきと考える。

協力隊活動は人間関係の
構築が最重要課題であり、
互いに信頼し、信頼される
関係を築き、町に愛着を持
ってもらふこと、その先の
結果として定住してもらふ
ことが望ましい。

ふねあひるんぐらむ 新町長に聞く



もう少し夢のある話をして
いけたらと思います。

②初議会では議員の厳しい
質問もありましたが、どの
ように受け止めましたか。

議員さん一人ひとりにそ
れぞれの立場、考えがあり
ます。様々な意見・要望が
ある中で、最終的に結論を
導く難しさを感じました。

③まず何から始めますか。

執行方針で示したように、
長期的には農地再編や新規
就農、行政区問題、短期的
にはJR札沼線の跡地利用
などを手掛けていきます。

④議会に何を求めますか。

人口減少などの社会現象
に、頻発する自然災害など、
当たり前が通用しない時代。
行政と議会がこの町を良
い方向へ引つ張っていくた
めにも、議論百出し、協力
をお願いします。

⑤職員に何を求めますか。

グローバル化や
新しい生活様式など、新し
い物事に対し、職員一人一
人が多様化する問題への対
応が求められています。

自ら資質向上に努めなが
ら、住民本位を心がけて職
務に当たってもらいたいで
す。

⑥家庭ではいかがですか。

たまに買い物に行ったり、
休日にランチ限定でチャー
ハンやラーメンを作ったり
してとても喜ばれています。
が、その他は…。特に庭
仕事は手が出ません…。

様々な課題がある中、川
畑町政には期待するととも
に、議員も町長と議論を交
え、浦臼町の未来を支えて
いきたいと思えます。
ご協力ありがとうございました！

議会の流れ

◎議会運営委員会
6月10日、19日

・第2回定例会について

◎全員協議会

5月13日

・浦臼町税条例等の一部を
改正する条例について
他

6月17日、25日

・第2回定例会の運営につ
いて

・浦臼町一般会計補正予算
について 他

7月14日

・両診療所に関する指定管
理者の公募について 他

◎議員懇談会

4月13日

・地域おこし協力隊につい
て

6月17日

・道外視察研修について

◎議会広報特別委員会

7月17日

・議会だより第171号編
集

編集後記

冬は小雪だった春から
は順調に代かき、田植えが
終わり、田畑に新緑の淡い
色が広がり、いつもの風景
がある。

浦臼は小さな町でも豊か
で幸せだなぁと思うが、世
界はどうか。未知の新型ウ
イルスはもちろん、大国の
新しい価値観がまるでウイ
ルスのようにはびこってい
る。町民の皆様方は特効薬、
ワクチンができるまでコロ
ナウイルスに十分ご注意ください。
(野崎)

委員長	野崎	敬恭
副委員長	折坂	美鈴
委員	東藤	晃義
委員	高田	英利

